

# SANS FRONTIÈRES

## vol.63

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryu.ac.jp/>

### はじめに

2024年問題といえばドライバーなどの残業時間の上限規制のことで、ニュースや新聞などで取り上げられていますが、建設業や医師なども同様の規制が始まったのを知っていますか。残業時間の上限は年960時間。併せて終業から始業までの休息时间(勤務間インターバル)を8時間以上から9時間以上に引き上げるといった措置も行なわれます。医師は地域医療の維持などの理由があれば最大で年1860時間まで残業が可能です。病院が事前に都道府県の指定を受ける必要もあります。本校を卒業し医師として働いている先輩に話を聞いても「確かに勤務時間は長いが患者さんのため頑張っています」ということを言っています。高校を卒業するとき、世の中の人々に貢献できる医師になりたいと言っていた意志は今も持ち続けているようです。我々患者の立場になる者は、例えば、救急搬送の適正利用を心掛け、電話相談窓口「#7119」(一般用)「#8000」(子ども用)を利用するとか、薬剤師に相談し薬局の市販薬で処置するセルフメディケーション等も考えた対応をするといった、少しでも医師の負担を減らす必要があるようです。

また、3月下旬から紅麹を含む健康食品による健康被害のニュースが取り上げられています。報道当初は情報が混乱し、紅麹自体が健康に害を与える物質と捉えた人も多く、何が本質かを見失っていた場面もありました。こういう時こそ冷静に考え、情報収集をしっかりとし、そして判断することが必要です。真相究明まで時間がかかりそうですが、同じような被害にあう方が二度と出ないよう今後の動向に注視したいと思います。

医歯薬コースでは、年間を通じて様々な講演会や体験型の講座を受講したり、探究活動を行ったりし、医療系の正しい知識、情報を収集します。是非、広くアンテナをはり、今までにない価値観を習得しましょう。

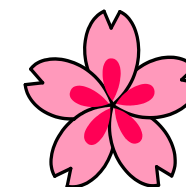


### 2023年度 進学状況

2023年度の医歯薬コースの卒業生は32名。国公立大学は、防衛大や防衛医大看護学科を含めて延べ人数で27名合格しました。医療系学部には延べ43名、医学部医学科には既卒生を含めて述べ4名が合格しました。

1、2年次はまだCOVID-19の影響が大きく、体験学習等で制限があり、思うように活動できなかった学年です。しかし、コース生たちは我慢強く努力を続け、自分の目標を達成しました。

コース生たちの努力に敬意を表し、大学での活躍をお祈りします。



### 担任メッセージ

#### 【3年1組 佐藤 一晃先生】

2024年は、新紙幣が約20年ぶりに発行されます。新千円札の図柄として採用される北里柴三郎についてお話しします。北里柴三郎といえば、破傷風(感染症)や血清療法の研究に尽力し、感染症治療の発展に貢献した「日本細菌学の父」と言われています。また、北里(きたざと)柴三郎は北里(きたざと)大学の学祖でもあります。北里大学は北里柴三郎が門下生に向けた言葉、「開拓」「報恩」「叡智(えいち)と実践」「不撓(ふとう)不屈(ふくつ)」を大学の建学の精神としています。北里大学で学ぶ者には、この精神に徹して学業に励み、技能を磨き、徳性を養い、将来有為なる科学人になることが期待されます。

さて、医歯薬コースのみなさんは志望大学の建学の精神やアドミッション・ポリシーを理解していますか? ぜひ、この機会に3年生だけでなく、1・2年生も自分で調べてみましょう。

#### 【3年2組 大久保 亜紀先生】

『誰かを想うことからすべてが始まる。』電話を発明したグラハム・ベルも、自分の母親が開発のきっかけだったと言われています。社会では誰もが誰かと関わり生きていきます。その中でも医療人は、常に誰かの『命』に触れるという立場です。まさに、相手を想うことが大切になります。人は一人ひとり違います。どんな誰かにも寄り添える、そのための知識と考えをこの医歯薬コースで身につけ、将来へと羽ばたいてください。

### 【2年1組 早乙女 邦彦先生（医歯薬コース主任）】

受験勉強だけが勉強ではありません。医歯薬コースでは医療系の出来事はもちろんのことその他のトピックスにも目を向け知識や倫理観を学びます。自らの幅や視野を広げ、多様なことを身に着けられます。是非この1年間で大きく成長しましょう。

### 【1年1組 湯田 雅之先生】

2年連続で3年生の担任を任されて、その年、その年の受験生事情の変化と進路実現の難しさを痛感しています。今年の3年生は数学ⅡBCの選択や情報の得点が鍵を握りそうですね。よくよく模試を振り返り、直前期の予想問題と自身の得意不得意を加味して、悔いを残すことなく頑張ってください。追加合格、同じ大学の他学科合格もあるので、可能性を信じて最後まで諦めず、自身を高めることを忘れずに日々の努力を積み重ねましょう。それが自信に繋がります。ともに頑張りましょう。

### 【1年2組 山田 隆太郎先生】

水戸葵陵高校の教育方針は、「文武不岐」です。（文）は、学問のことを表し、（武）は、現代では部活動や趣味、習い事などを表しています。その上で、（文）と（武）を分けて考えるのではなく、一体することで相乗効果を生み出すことを表しています。また、医療系大学での部活動は、他学部比べて盛んなことも多く、運動部においては、他学部より強い場合も少なくありません。それは、文武不岐が大切であることの裏付けではないでしょうか。さらに、部活動や趣味、習い事などに取り組むことで、縦や横のつながりも増え、人脈が広がり、多角的な視点が身につくと考えます。ぜひ皆さんは多くのことに興味を示し、取り組み、知的好奇心を持つことで、みなさんの高校生活が有意義になることを期待します。

### 【副担任の先生方】

- 1-1 高橋 登志雄先生（1学年主任）
- 1-2 須田 知子先生（医歯薬コース 副主任）
- 2-1 福田 英世先生（2学年主任）
- 3-1 澤幡 通正先生（進路指導部 副部長）
- 3-2 飛田 篤司先生（3学年主任）



## 医歯薬講座 国際医療福祉大学出張講義



11月2日、国際医療福祉大学の出張講義が実施されました。

「フラジャイル

—がん細胞を見つける臨床検査技師— 片山博徳先生

「手術室での看護の仕事」 武田彩子先生

「学校薬剤師の仕事体験してみよう」 高石雅樹先生

「Eye vs iPhone」 鈴木賢治先生

以上の4つの講座が開講されました。

ドラマでしか知らなかった仕事の内容や、それぞれの学科で学ぶ内容を、先生の体験談や実験を通して知ることができました。

## 医歯薬講座 いのちの学習会



12月21日、臓器移植に関する講演会「いのちの学習会」が開かれました。水戸英宏中学校の2年生も参加しました。

講師は、NPO法人ハートtoハート・ジャパン理事、見目政隆先生です。

2人のお子さんが相次いで移植を必要とする病気となり、アメリカで移植手術を受けるという、たいへんな経験をされた先生は、帰国後、日本の臓器移植法の改正に向けて活動されました。

コース生は、困難な状況の中、少しでも有効な方法を探し、行動なされた先生のお話に、大きな感銘を受けていました。

## 医歯薬講座 1年生研究発表会



3月14日、1年生による研究発表会が実施されました。

2年生や、保護者の方々、本校の教員の他、iコース生も見学に来てくれました。1年生たちは、緊張している様子もありましたが、聞く人を引き込むようなクイズを取り入れたり、見やすいスライドを作るなどの工夫も見られました。今回の成果を踏まえ、さらに探究活動を勧めていく予定です。

## 医歯薬講座 救急救命講習(1年生)



3月18日、1年生が救急救命講習を受けました。

コース生は毎年、1年次に講習を受けることになっています。

指導員の方々の説明を受けながら、胸骨圧迫の方法、AEDの使用法などを学び、実習しました。積極的にロールプレイに参加する生徒も多く、有意義な講習会になりました。

## 1階ホールと周辺施設について

医歯薬コースの教室は、1階ホールを囲む位置にあります。

ホールは、気軽に使用できる学習スペースであり、医歯薬コースだけが使用するわけではありませんが、早朝や放課後に学習しているコース生の姿がよく見られます。

さらに、今年度はスタディールームもホール周りに設けられました。早朝と放課後に使用できるようになっています。集中して学習したい生徒は、こちらを使用しましょう。

第1会議室の隣は、今年度は進学指導室になりました。大学進学の資料や、模擬試験の過去問題などが置いてあります。

## 1階ホールの書籍について

ホールには、医療系大学や理系大学への進学に役立つ書籍・雑誌を置いてあります。ほとんどが個人のもので、使用した後は図書室ではなく、もとの位置に戻してください。

最近、特に「思考力」や「表現力」が重視されています。思考するにも、自分の考えを表現するにも、正しい知識が必要です。ネットだけではなく、ぜひ、本を読んで自分の考えを深めてください。

ホールの書籍類は貸し出すこともできます。1階進路指導室の須田先生に申し出てください。



最新の科学の話題や解説が載っています。記事が入試小論文の課題文になることもあります。



朝日新聞の英語版です。